

平成6年度(1994)
個展を前提とした作品制作研究(11)
第11回個展・Gallery Work II in Naha

金城 満

1. 展覧会名:

金城満版画展 -シリーズ「表面の裏面」-

2. 趣旨:

表面に表面がある様に、裏面には裏面があり、表面にも裏面があり、裏面にも表面がある。そんな表面と裏面を版画という裏面で表現した。

3. 材料技法

シルクスクリーン、箔

4. 展覧会場

Gallery Work II

5. 展覧会期

1994年01月17日(月)～22日(土) ※6日間

6. 開館時間

11:00～19:00

7. 観覧料金

無料

8. 企画

Gallery Work II

9. 作品リスト


No.	作 品 名	サイズ (c m)	材 料	制作年月	備 考
149	シリーズ「表面の裏面」1	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
150	シリーズ「表面の裏面」2	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
151	シリーズ「表面の裏面」3	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
152	シリーズ「表面の裏面」4	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
153	シリーズ「表面の裏面」5	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
154	シリーズ「表面の裏面」6	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
155	シリーズ「表面の裏面」7	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
156	シリーズ「表面の裏面」8	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
157	シリーズ「表面の裏面」9	38.0 x 27.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
158	シリーズ「表面の裏面」10	54.0 x 38.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
159	シリーズ「表面の裏面」11	54.0 x 38.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
160	シリーズ「表面の裏面」12	65.0 x 45.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
161	シリーズ「表面の裏面」13	65.0 x 45.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
162	シリーズ「表面の裏面」14	38.0 x 54.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展
163	シリーズ「表面の裏面」15	38.0 x 54.0 cm	シルクスクリーン、箔	1994年	第11回個展

10. 関連イベント

11. 考察（報道等資料）（pp. 13-14）

(1) 沖縄タイムス 1994.02.06 展覧会から
金城満版画展 一種哲学的な要素も

(3) 琉球新報 1994.02.06 金城満版画展



MITSURU
EXHIBITION

1994. 1/17-22

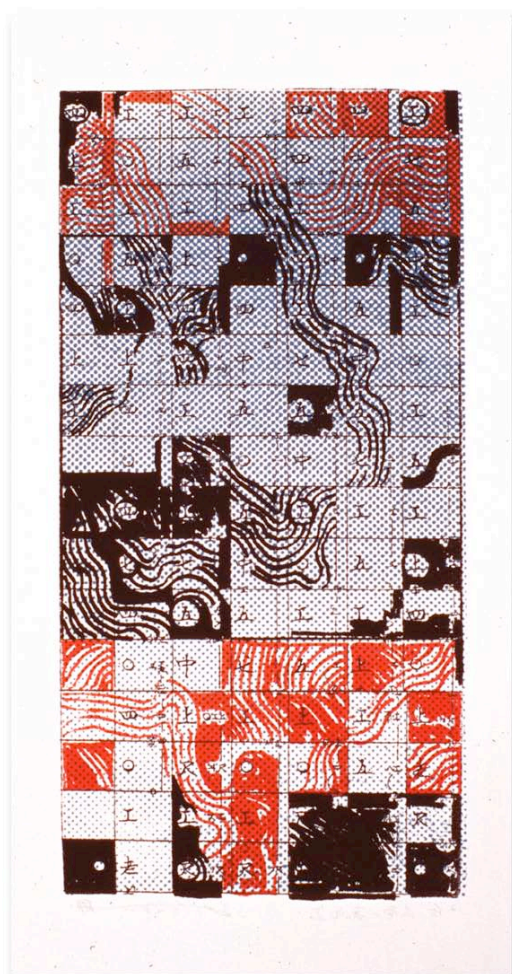
GALLERY WORK-II
☎098(855)7933

POST CARD

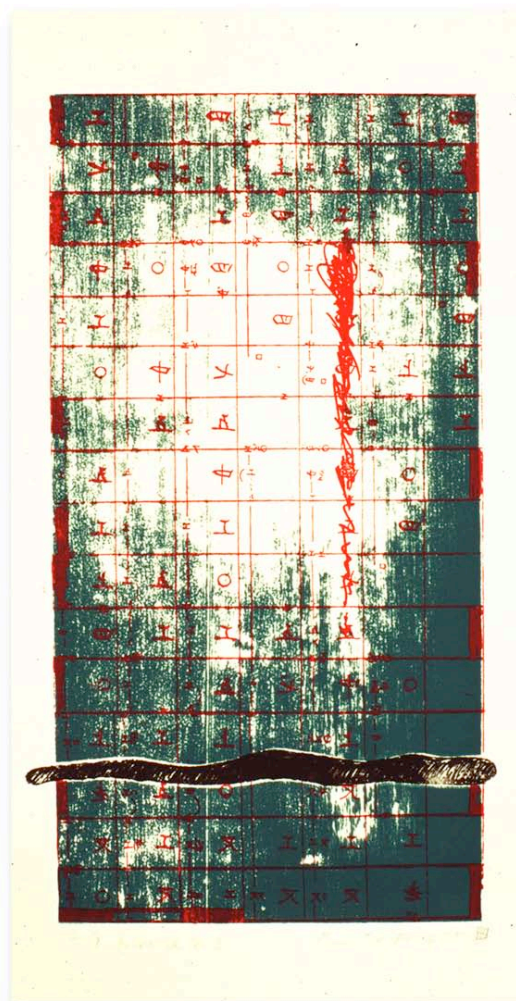
- 金城満版画展
ーシリーズ表面の裏面ー
- 1994年1月17日(月)~22日(土)
(最終日6:00pm)

表面に表面がある様に
裏面に裏面があり
表面にも裏面があり
裏面にも表面がある
そんな表面の裏面を
版画という裏面で表現した

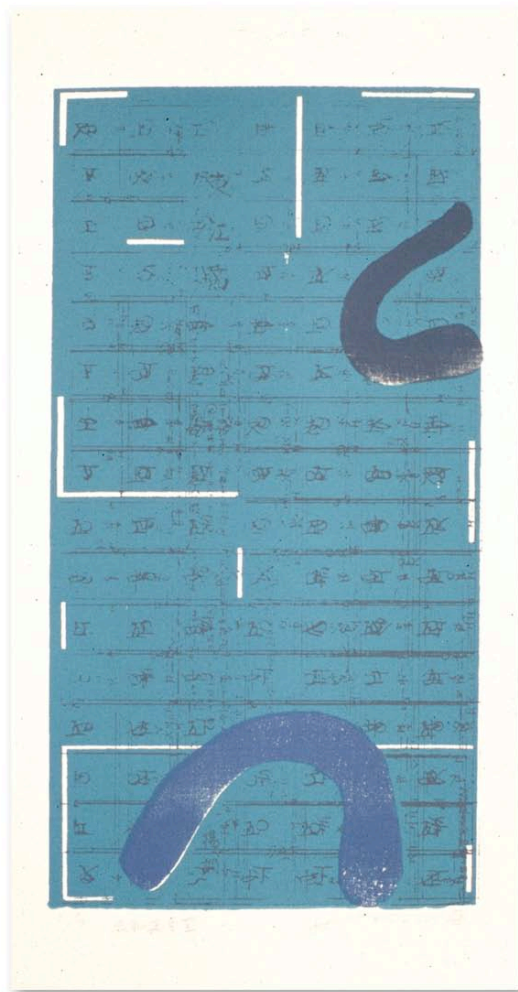
● 画廊 沖縄 那覇市泉崎2-2-3 TEL 098(834)6760	バレット○ 国際通り 菓行 ○ ホテルレインボー 那覇高○	● ● 画廊 沖縄 GALLERY WORK-II
---	----------------------------------	------------------------------



表面の裏面1
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔



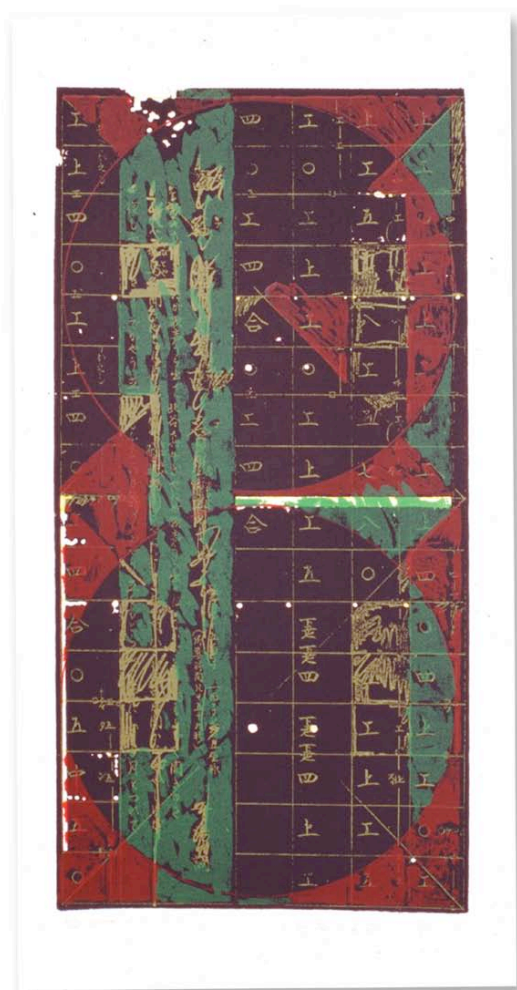
表面の裏面2
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔



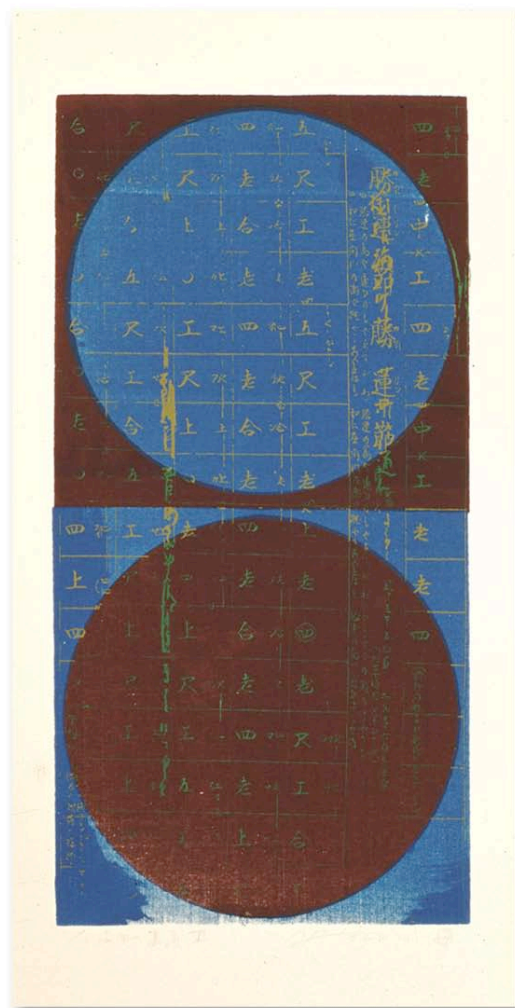
表面の裏面3
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔



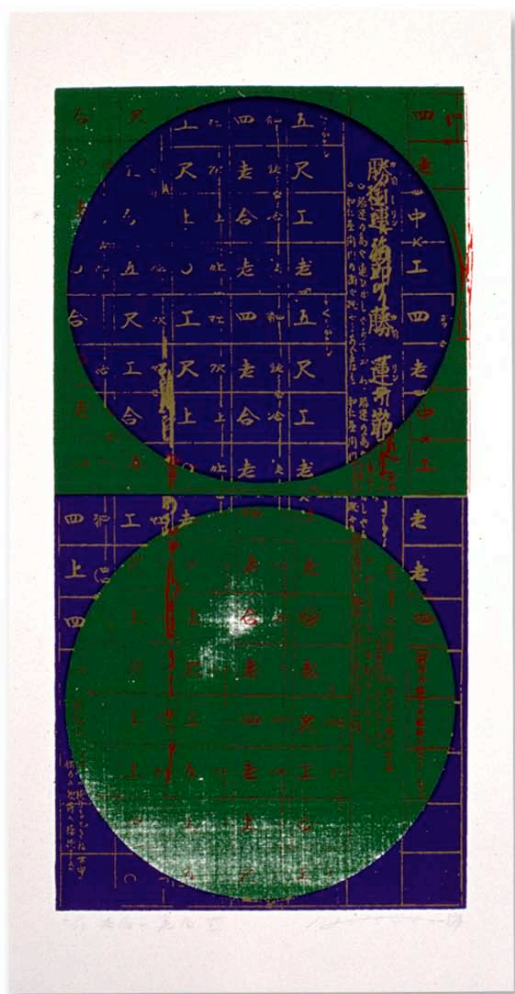
表面の裏面4
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔



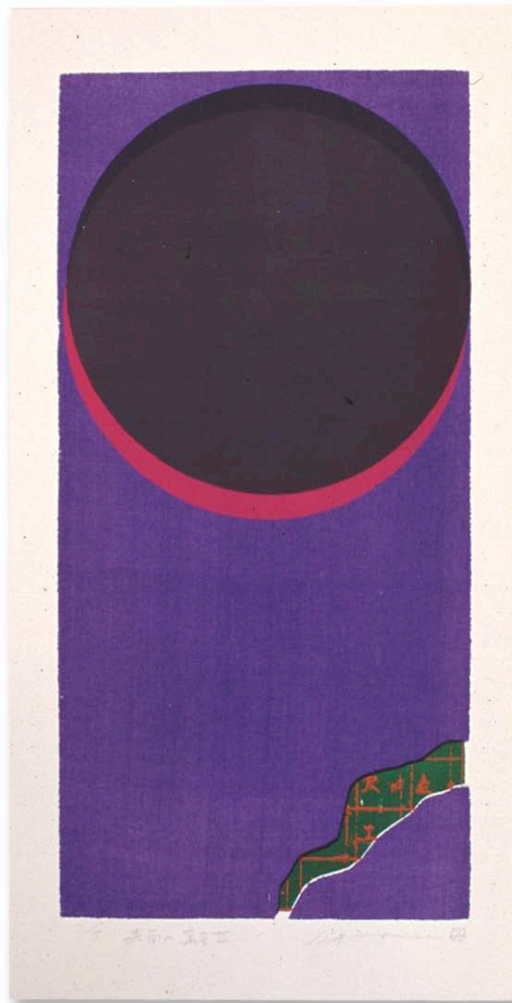
表面の裏面5
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔



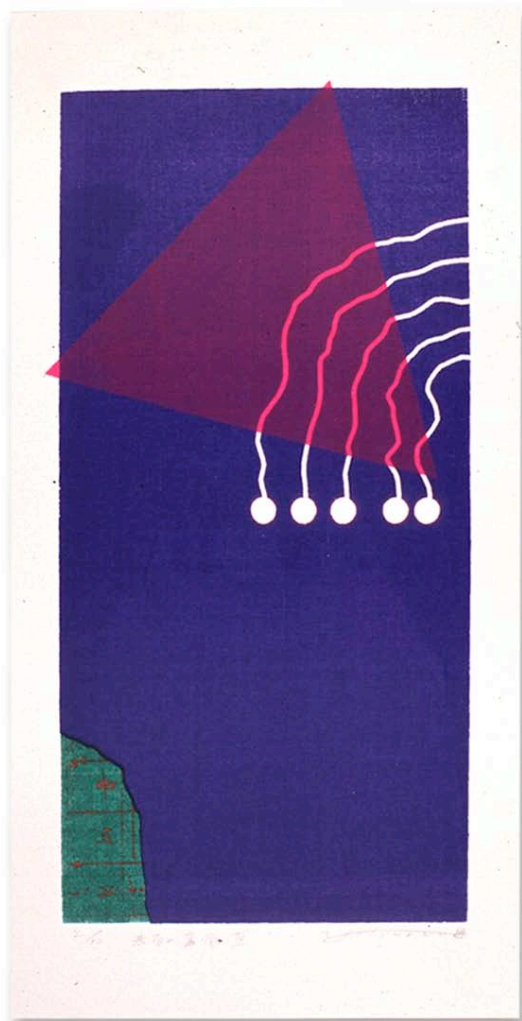
表面の裏面6
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔



表面の裏面7
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔

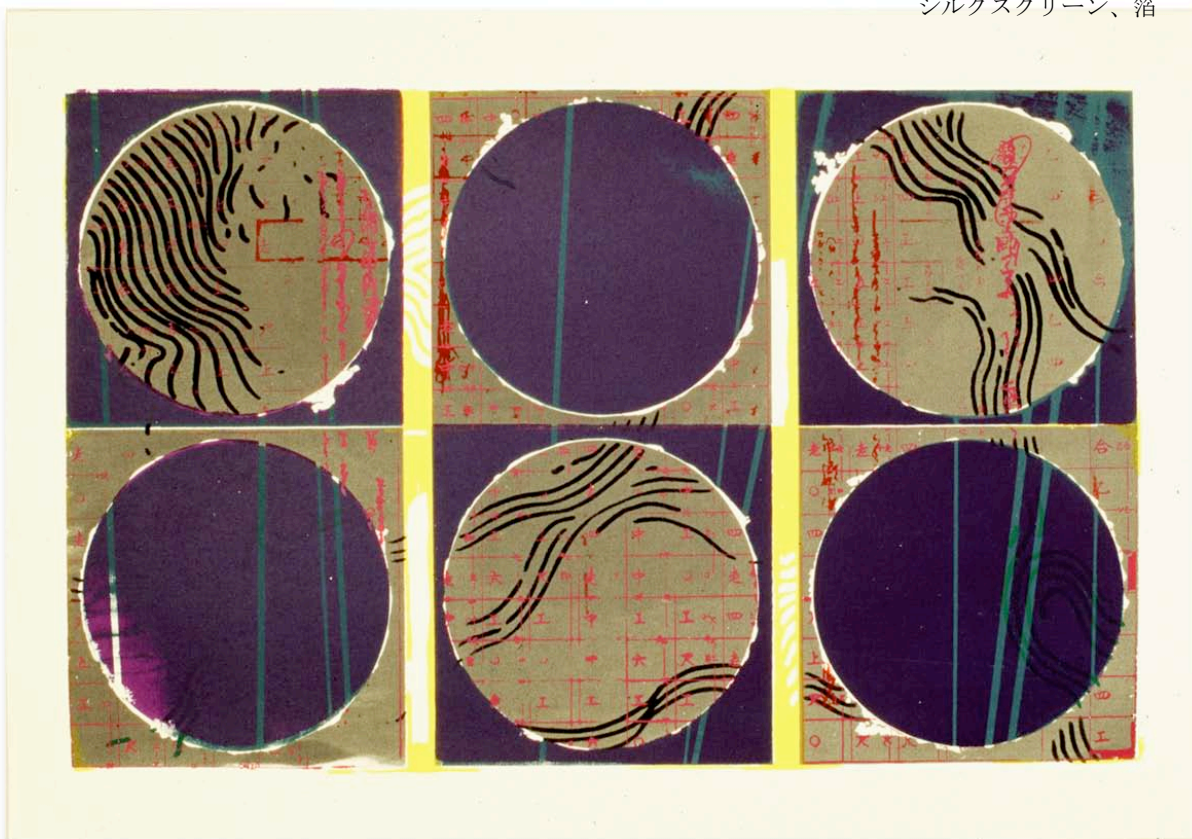


表面の裏面8
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔



表面の裏面9
38.0 × 27.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔

表面の裏面15
38.0 × 54.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔

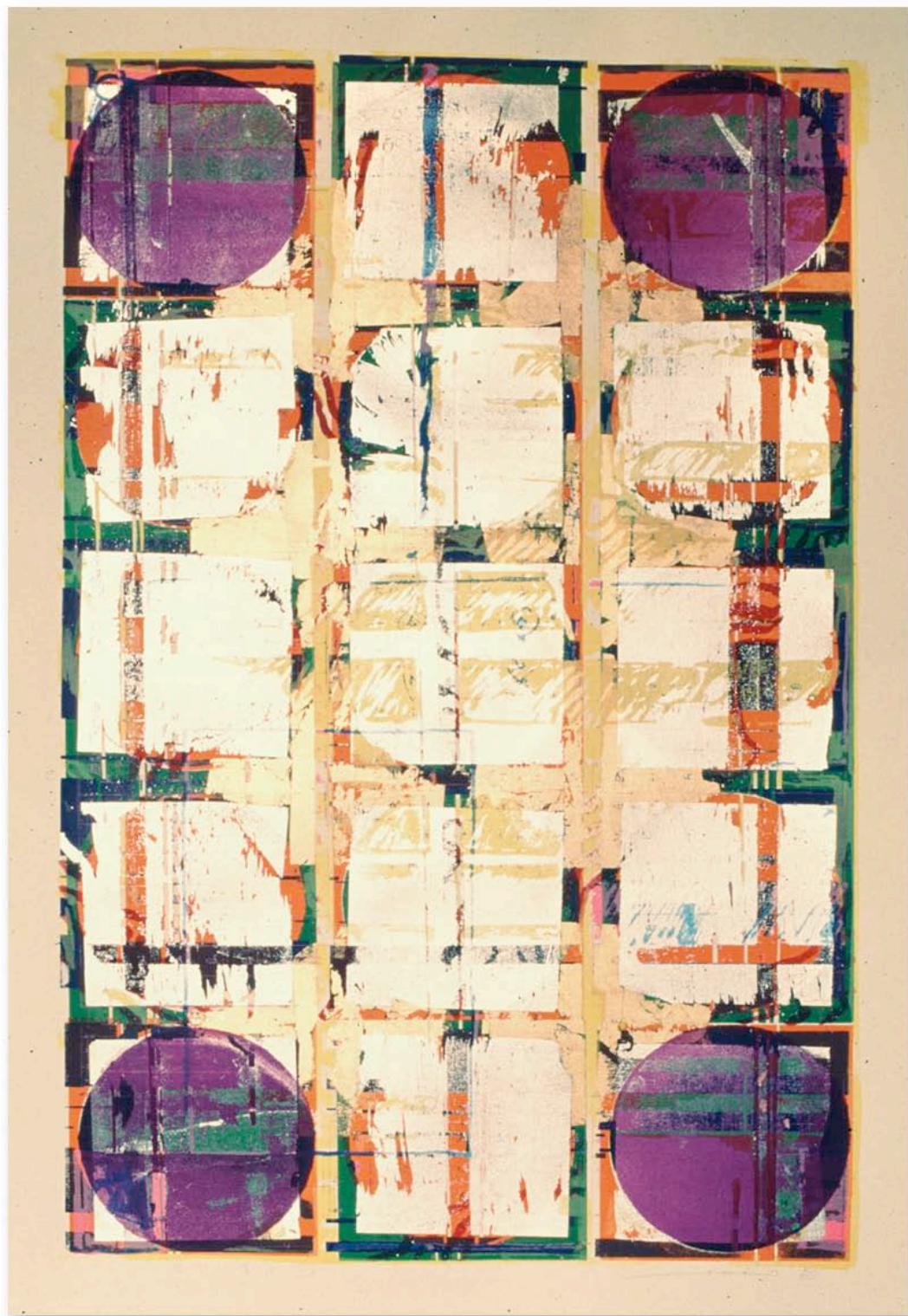




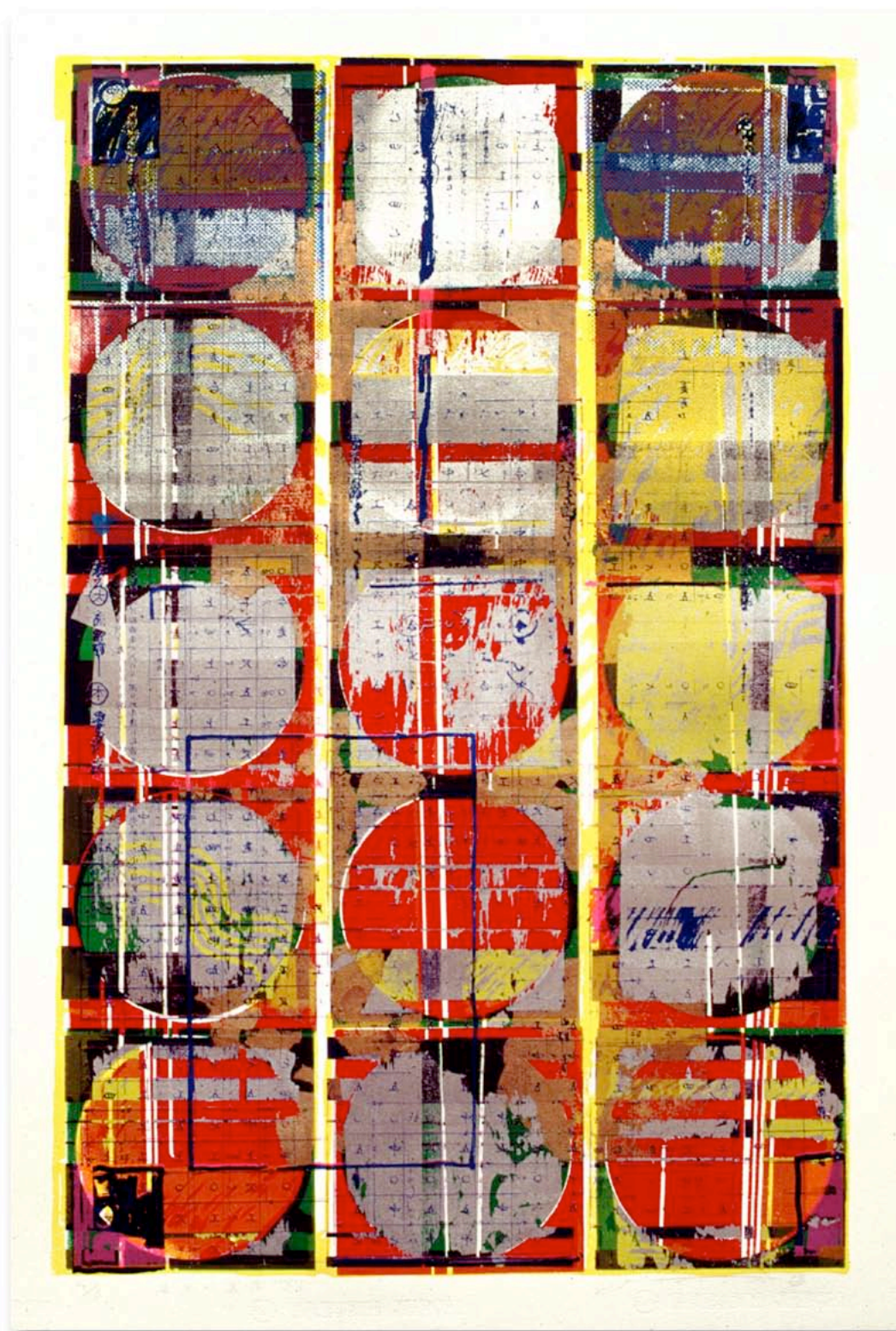
表面の裏面11
54.0 × 38.0cm 1994年
シルクスクリーン、箔

表面の裏面14
38.0 × 54.0 cm 1994年
シルクスクリーン、箔

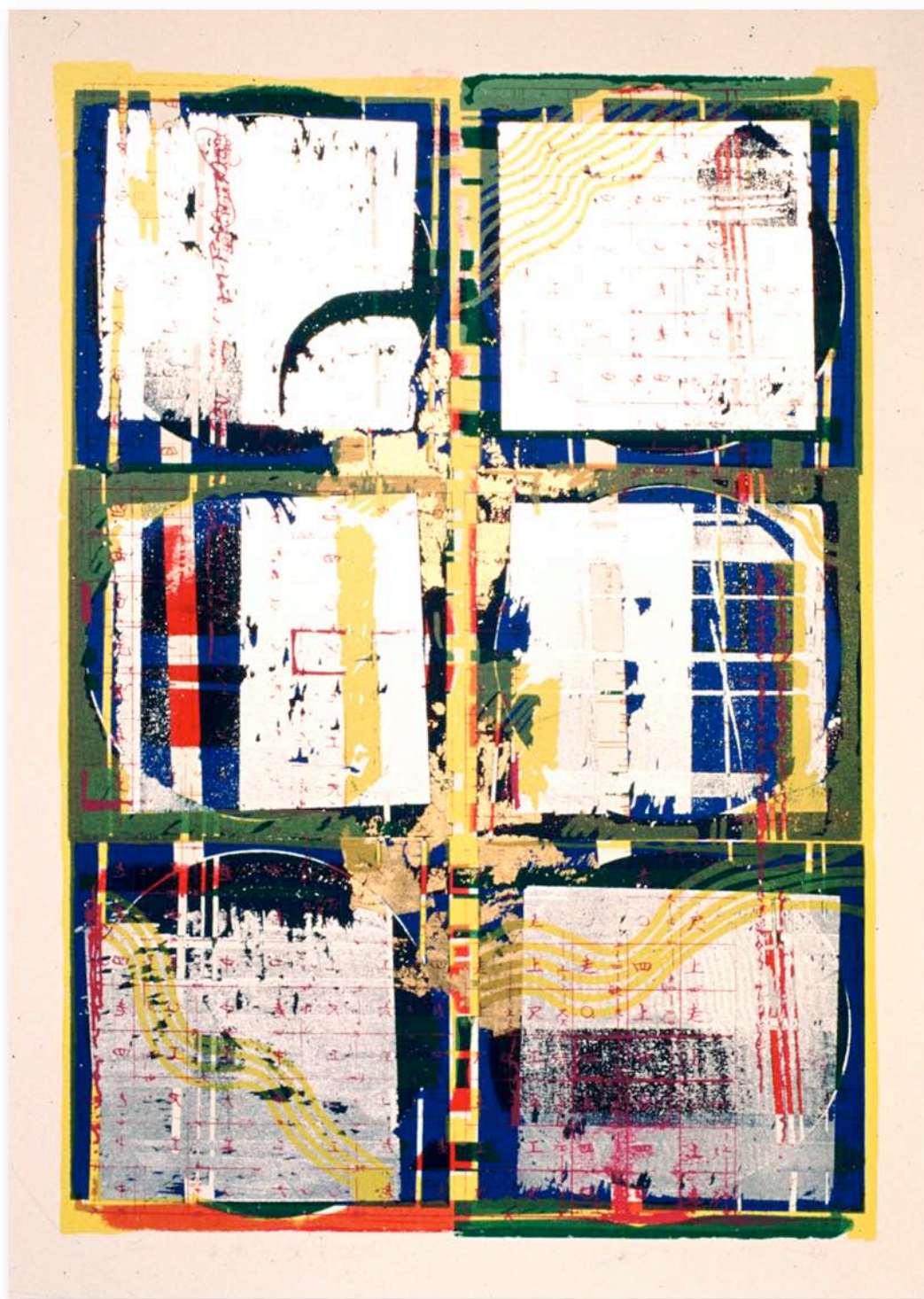




表面の裏面13
65.0 × 45.0cm 1994年
シルクスクリーン、箔



表面の裏面12
65.0 × 45.0cm 1994年
シルクスクリーン、箔



表面の裏面11
54.0× 38.0cm 1994年
シルクスクリーン、箔

展覧会から

琉球古典音楽の楽譜「工四」をモチーフに独自の創作を続ける画家・金城満さんの個展が、那覇市泉崎のギャラリーワークIIで開かれている。

今回は版画に挑戦。シルクスクリーンを用いての表現。金・銀箔（はく）を用いて鮮やかな色ど工四の音譜から、音を発するかのよさなインパクトをもって伝わる。

テーマは「シリーズ表面の裏面」。ものごとはずべて三元性を持ち存在する。

なにかあるのかを見たかった」と語る。

シルクスクリーンに映し出された世界は、一見表層的ではあるが、版を刷るごとに微妙に違ってくる色彩やインクの厚みなど視覚的には薄い画面のなかにあるが、深みを持って語りかけてくる。

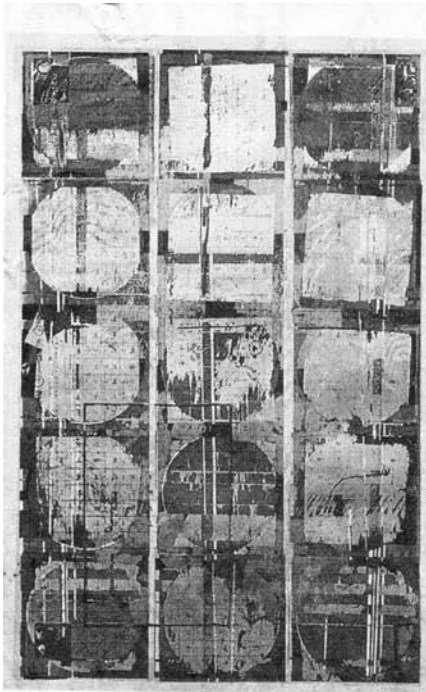
だが、金城さんはそこに着目した。「表面的なものであっても、積み重ねや裏側を見ると「楽譜になる前の音への興味がある」と語り、人間の

シルクスクリーン用い表現

◆金城満版画展IIギャラリーワークII◆

一種哲学的な要素も

させる個展となっている。同展は二十一日まで。



金城満作品
「表面の裏面XV」
＝ギャラリーワークII



金城満作品「表面の裏面X V」
— キャラリーワーク II —

金城満版画展

「表面の裏面」をテーマとしたシルクスクリーンの版画展。計十六点、小じんまりしたものだが作品そのものには深みがある。

沖繩独自の音符「工工四」をただはめ込んだだけでなく、それを地としながら次元の異なる造形化を試みた跡がある。最後には極彩色の「工工四曼陀羅」とでも名付けた構図に行き着くが、形や色へのなぞらえから解放される次元に達するとき、作品をより大きくさせる力量を感じさせる。